社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和07年12月23日

計画の名称	快適諫早汚水処理施設整備計画（重点）												
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	諫早市												
計画の目標	下水道を整備することにより、生活環境の改善及び公共用水域の水質改善を図り、循環型社会の形成や地球規模での環境保全を推進する。 また、適切な維持・管理・防災・減災対策及び経営の効率化を推進し、長期的に継続可能な下水道の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	4,993	A	4,993	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R１末	R４末	R６末
1	諫早市の下水道処理人口普及率を６４％（R１末）から６９％（R６末）に向上させる。			
	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる地域に住む人口（人）／行政人口（人）	64%	67%	69%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000699924

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	諫早市	直接	諫早市	管渠（汚水）	新設	諫早湾処理区　汚水管渠整備	Φ７５～Φ３５０　A＝５６ｈａ	諫早市	■	■	■	■	■	2,131		－
	A07-002	下水道	一般	諫早市	直接	諫早市	管渠（汚水）	新設	大村湾処理区　汚水管渠整備	Φ７５～Φ２５０　A＝４１ｈａ	諫早市	■	■	■	■	■	1,471		－
	A07-003	下水道	一般	諫早市	直接	諫早市	管渠（汚水）	新設	飯盛処理区　汚水管渠整備	Φ７５～Φ２５０　A＝３１ｈａ	諫早市	■	■	■	■	■	870		－
	A07-004	下水道	一般	諫早市	直接	諫早市	管渠（汚水）	新設	高来処理区　汚水管渠整備	Φ７５～Φ１５０　A＝１４ｈａ	諫早市	■	■	■	■	■	521		－
											小計						4,993		
											合計						4,993		

案件番号：　0000699924

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
諫早市上下水道局にて、事後評価を実施。	事業終了後
	公表の方法
	諫早市ホームページに記載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道管渠の整備により、生活環境の改善及び公共用水域の水質改善を図り、循環型社会の形成や地球規模での環境保全に寄与できた。 また、ストックマネジメント、施設の耐震化や耐水化についても併せて取り組むことで、持続可能な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減に寄与できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

案件番号： 0000699924

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	諫早市の下水道処理人口普及率を64%（R01末）から69%（R06末）に向上させる。		
	最　終 目標値	69%	事業計画変更（R4年度、R6年度）及び全体計画の見直し（整備目標を平成42年から令和22年）を行ったため。
	最　終 実績値	68%	

案件番号：0000699924